

# 里山広葉樹林活用・再生プロジェクト

林野庁近畿中国森林管理局 上野康史氏

# 里山広葉樹林活用・再生プロジェクト



令和3年9月7日  
林野庁 近畿中国森林管理局

## <目次>

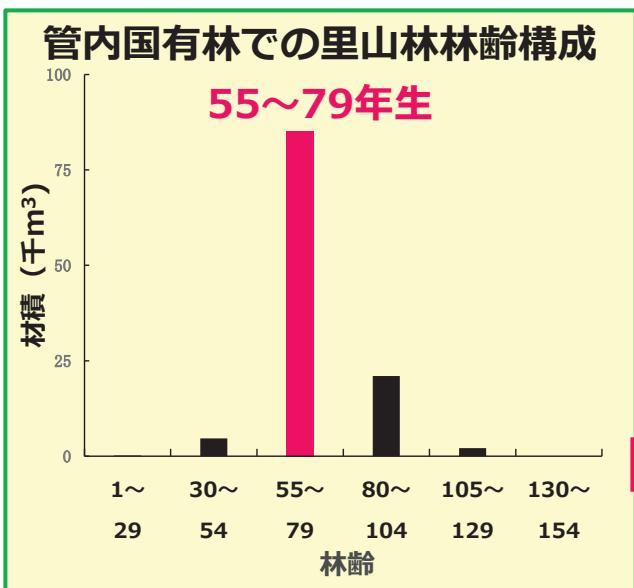
- 取組の背景
- 里山広葉樹林・活用再生プロジェクト概要
- 技術開発試験の調査内容
- これまでの調査成果
- WGの取組

## 取組の背景

### ✓ 里山林（旧薪炭林）の高林齢化

→ 幹の直径が太く  
樹高が高く

ナラ枯れ被害拡大を増長



里山の生物  
への影響

薪やチップ、シイタケ原木以外の  
製材利用が可能な径級に

天然林も資源  
として活用

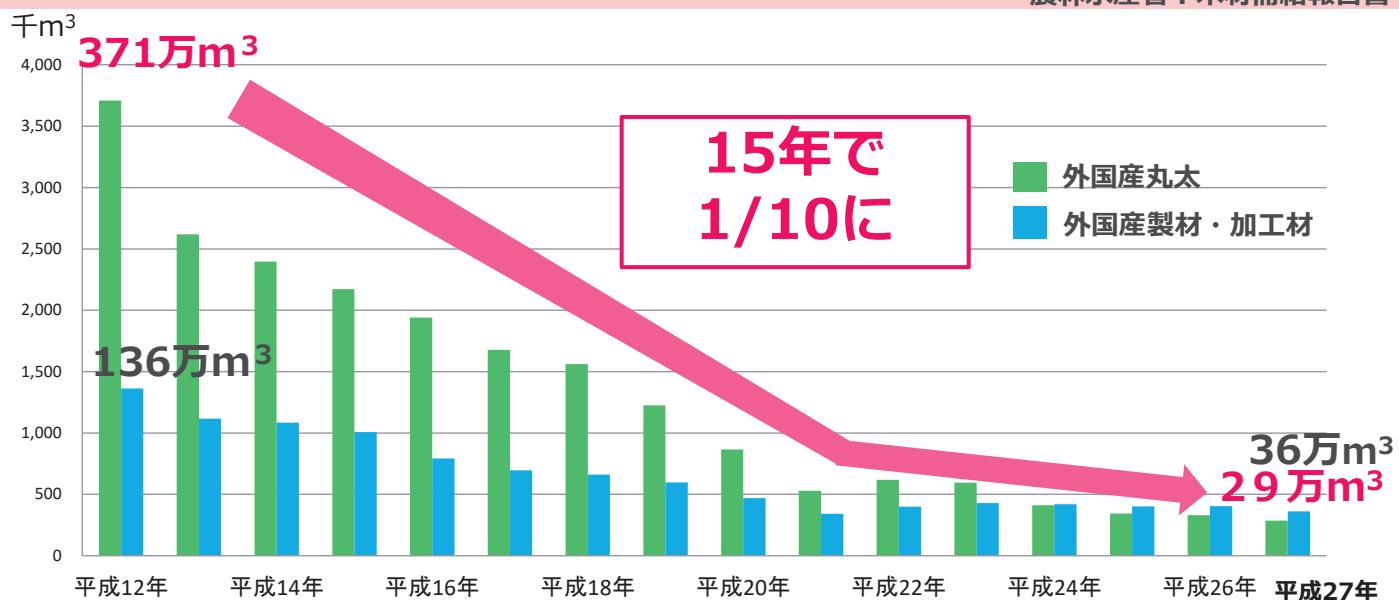
1

## 取組の背景

### ✓ 広葉樹材の需要動向

#### ■ 広葉樹の輸入量の推移

林野庁：森林・林業統計要覧  
農林水産省：木材需給報告書



- ・輸出国の天然林資源の枯渇、為替円安、価格の高騰
- ・クリーンウッド法施行(2017)

代替する原料の確保が重要な課題  
合法性が確認できる国産広葉樹  
への期待の高まり

2

# 取組の背景



✓ 里山広葉樹資源の利用、特に製材としての利用が進めば、これらの課題に効果的に対応できるはず

しかしながら・・・

- 近畿中国地方では、里山広葉樹の製材利用がほとんど行われていない
- 里山広葉樹材の流通がほとんどないため、採算性に関する情報がない
- 質的・量的なまとまりや供給の持続性などが欠如しており、需要が生じない
- 高林齢化した里山広葉樹林の天然更新に関するノウハウがない

森林を所有し、自ら事業発注を行っている国有林野事業の特性を活かして取り組んでみよう！

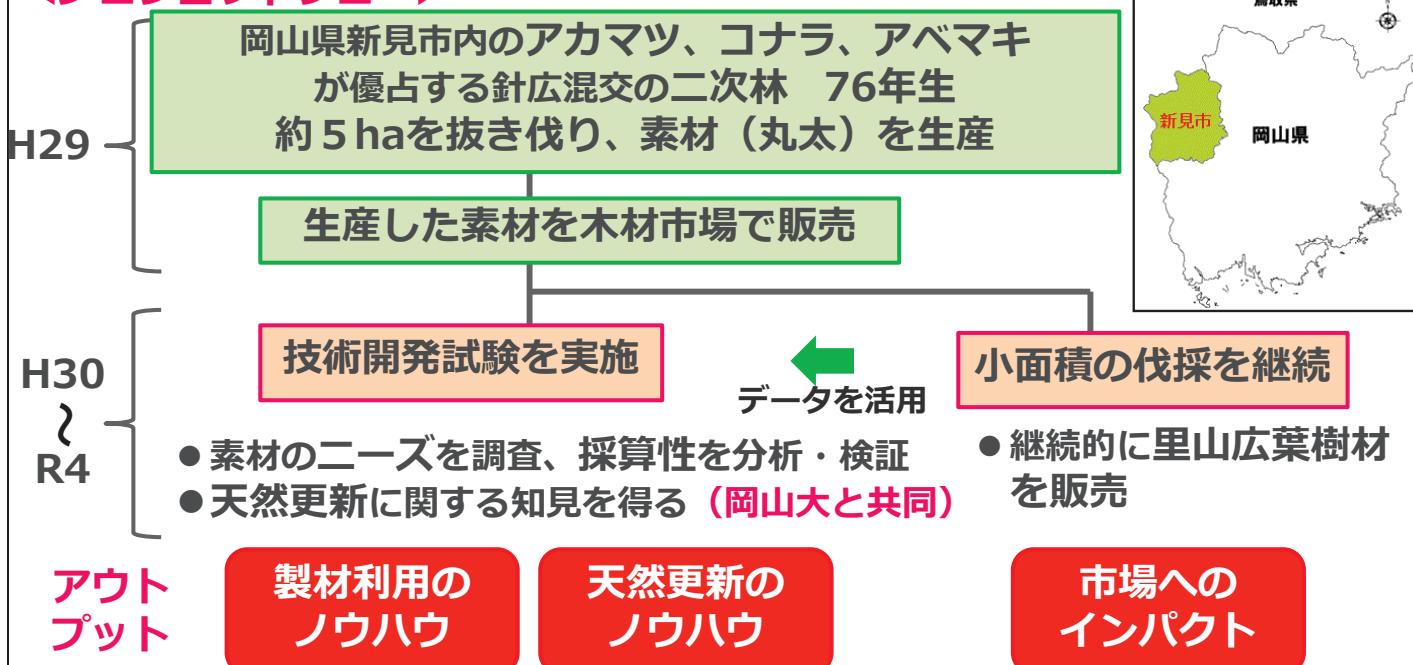
## 『里山広葉樹林活用・再生プロジェクト』

<大目標> 里山広葉樹林を有効に活用し、再生するモデルを構築する。

3

## 里山広葉樹林活用・再生プロジェクト 概要

### <プロジェクトフロー>



波及効果

- プロジェクトが呼び水になって、民有林の森林整備と広葉樹材供給が継続的になされることを期待
- 木材産業界が広葉樹素材の持続的な供給ポテンシャルに合わせ、加工・流通のフローが形成されることを期待

4

# 技術開発試験の調査内容

## (1)素材のニーズや採算性についての分析・検証

- ✓ 里山林において広葉樹の素材を生産・販売  
→ 木材としてのニーズや取引価格を把握
- ✓ 広葉樹の伐採・搬出等のコストを把握  
→ 採算性について分析・検証

## (2)萌芽及び天然下種による天然更新に関する知見取得

岡山大の協力

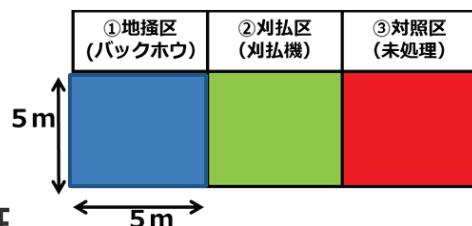
### a) 萌芽及び稚樹発生状況の把握

- ✓ ①地掻区、②刈払区、何も処理を行わない③対照区を各15プロット(5m×5m)設置  
プロット内に標準地(1m×1m)を2箇所設定  
→ 樹種、本数、樹高等を調査

- ✓ 林内での定点撮影及び相対照度調査

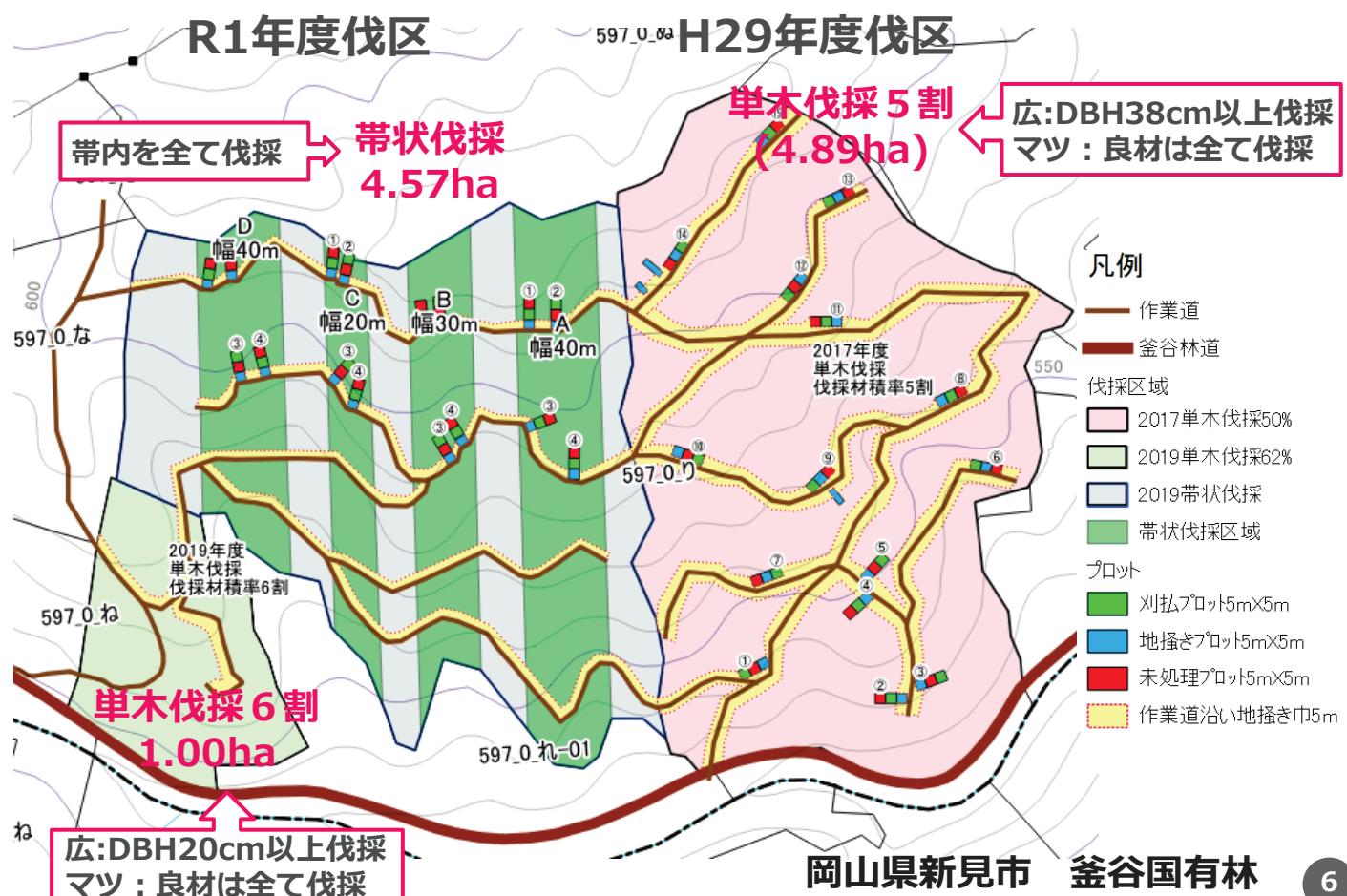
### b) 林冠等の経年変化の把握

- ✓ ドローンにより、上空から林冠を撮影、  
オルソ画像化  
→ 経年変化を検証



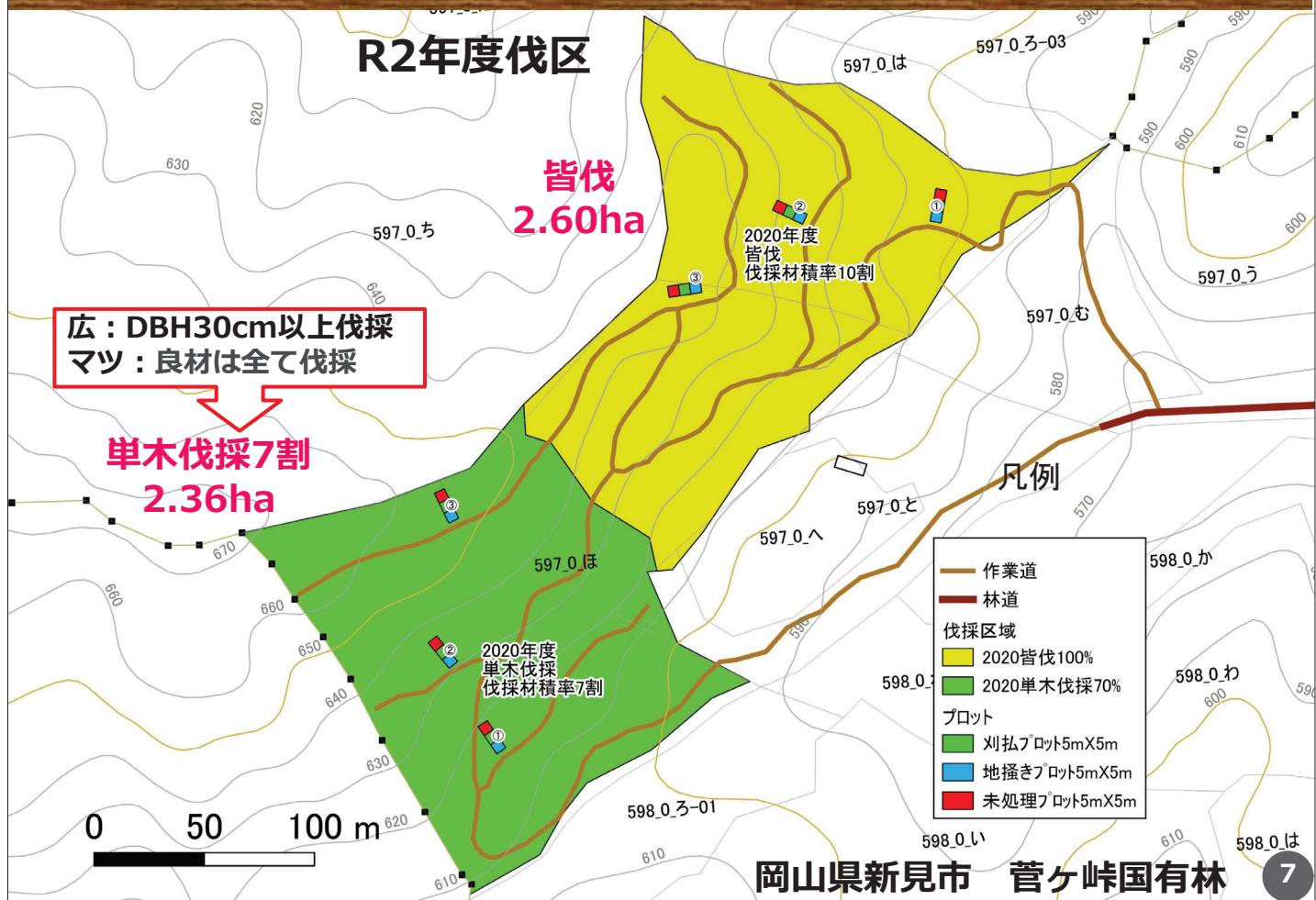
5

# 技術開発試験の調査内容（伐採区域）



6

# 技術開発試験の調査内容（伐採区域）



## これまでの調査成果 <素材のニーズ>

### a) 販売手法

生産した素材を津山総合木材市場新見支店において販売

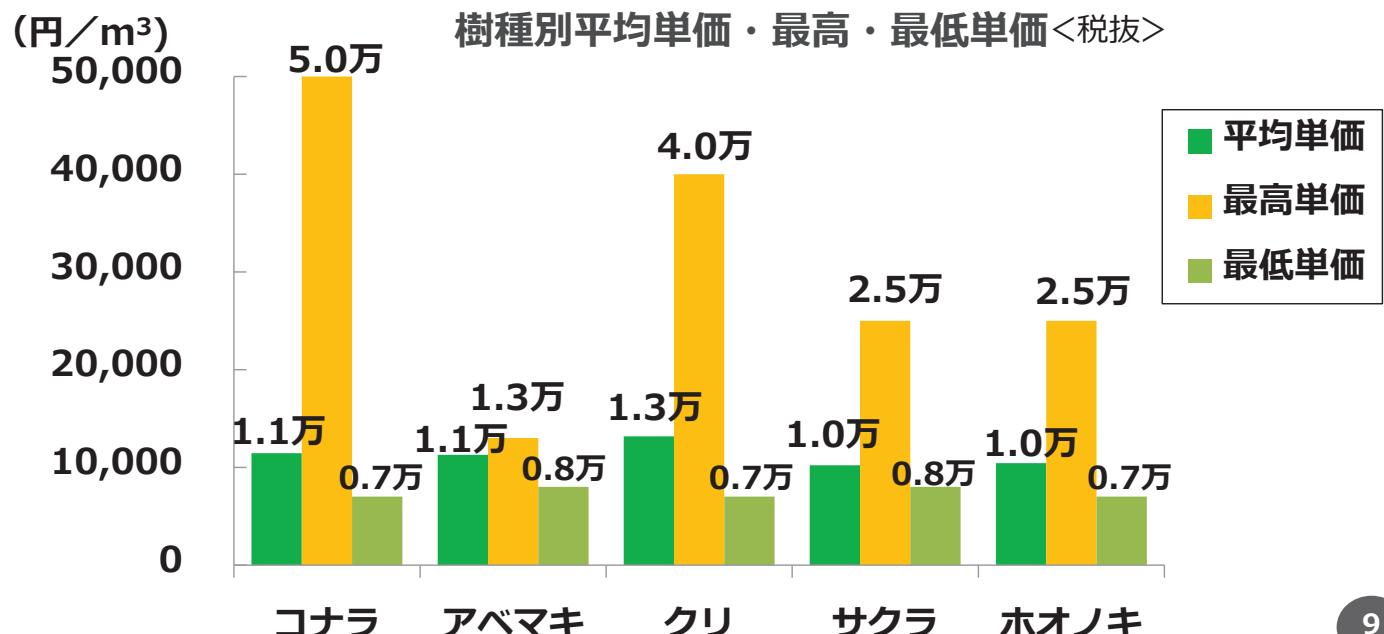


# これまでの調査成果 <素材のニーズ>

## b) 市場での販売結果

生産した素材を津山総合木材市場新見支店において販売

- ✓ 広葉樹の樹種別の平均単価は、1万円～1.3万円/m<sup>3</sup>  
広葉樹全体では、11,375円

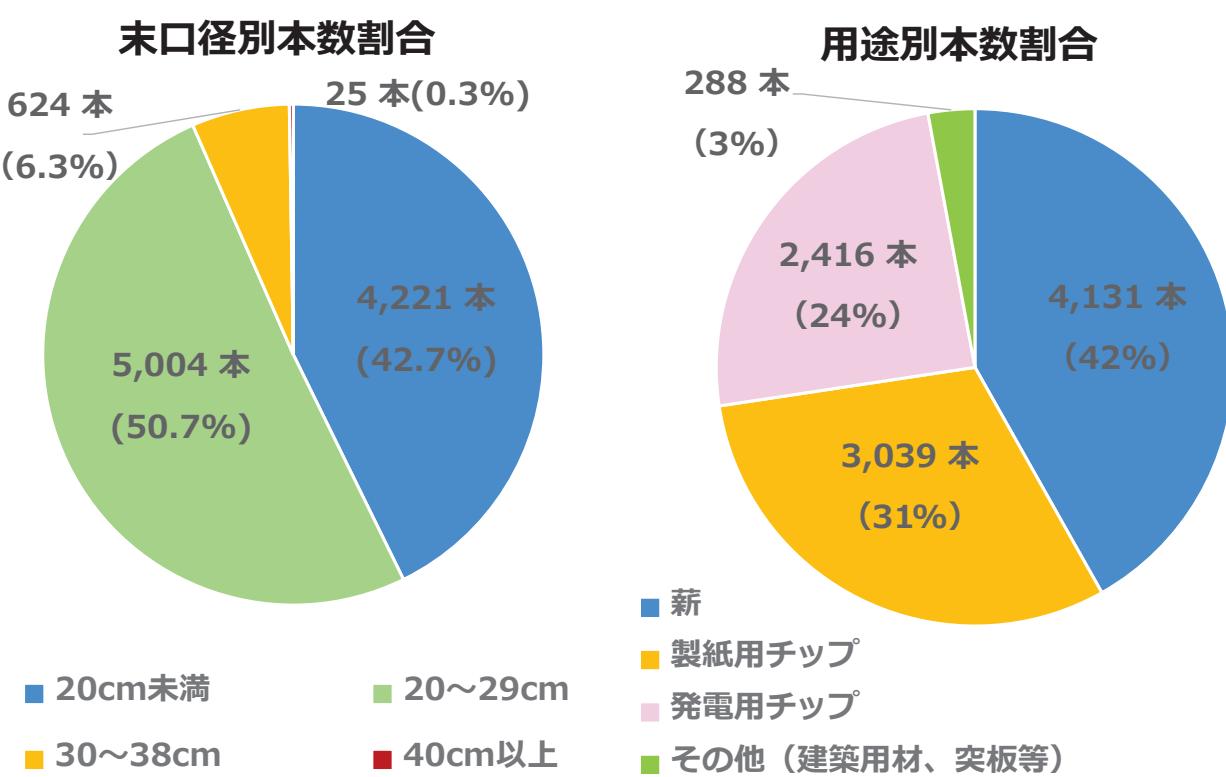


9

# これまでの調査成果 <素材のニーズ>

## b) 市場での販売結果

- ✓ 素材の用途は、薪・チップが主、一部建築用材・突板等



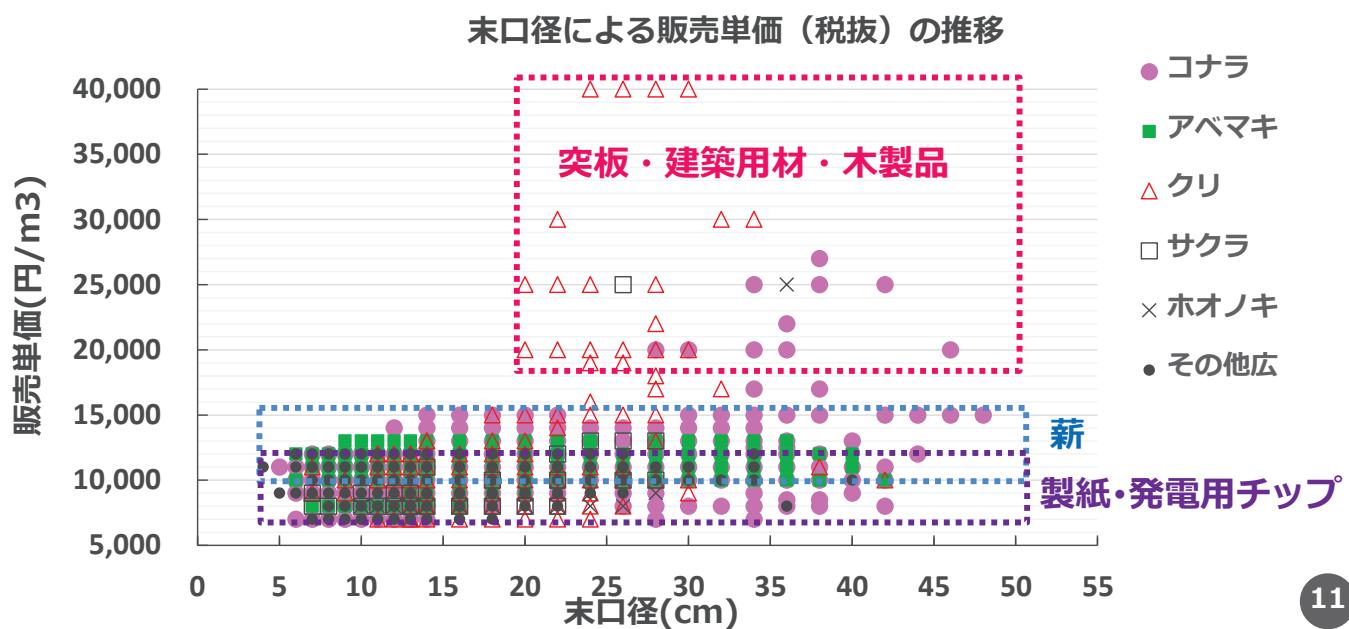
10

# これまでの調査成果 <素材のニーズ>

## b) 市場での販売結果

### 広葉樹材について、販売単価と用途の傾向を分析

- クリは末口径20cm程度以上、コナラは末口径30cm程度以上になると、一部が突板や建築用材等に利用されるようになり単価上昇



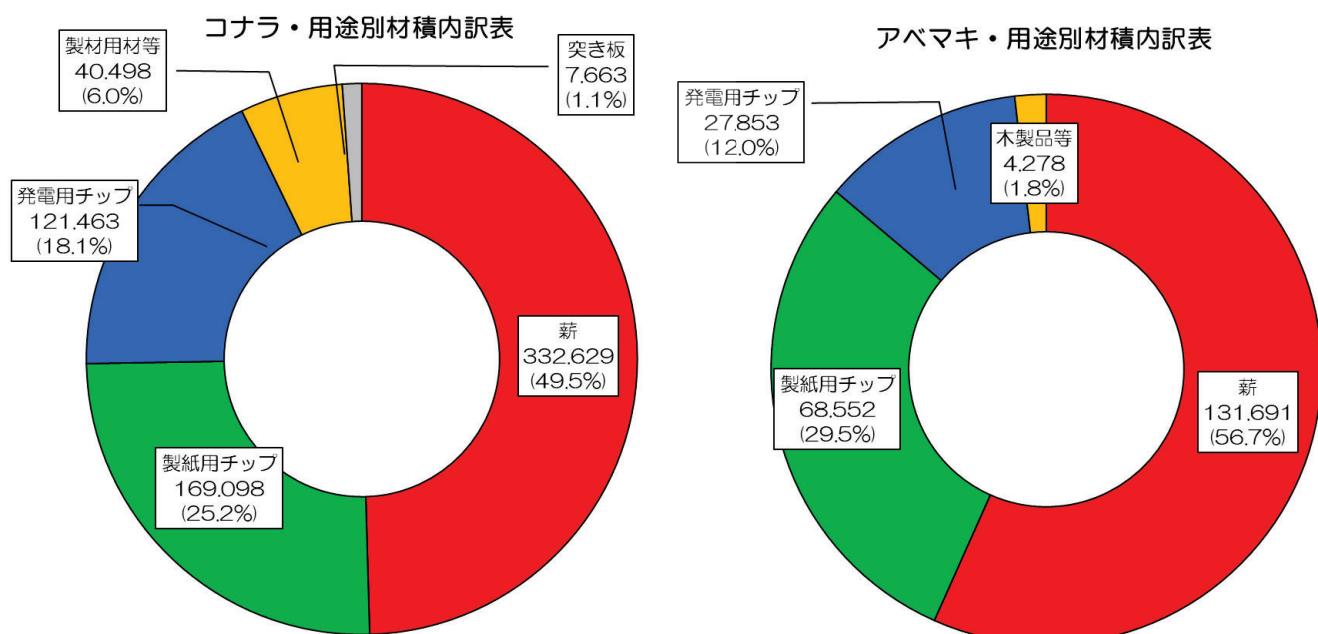
11

# これまでの調査成果 <素材のニーズ>

## b) 市場での販売結果

### 材積割合の大きいコナラ及びアベマキの用途

- どちらも薪としての利用が最も多い
- アベマキは、薪かチップ利用がほとんど



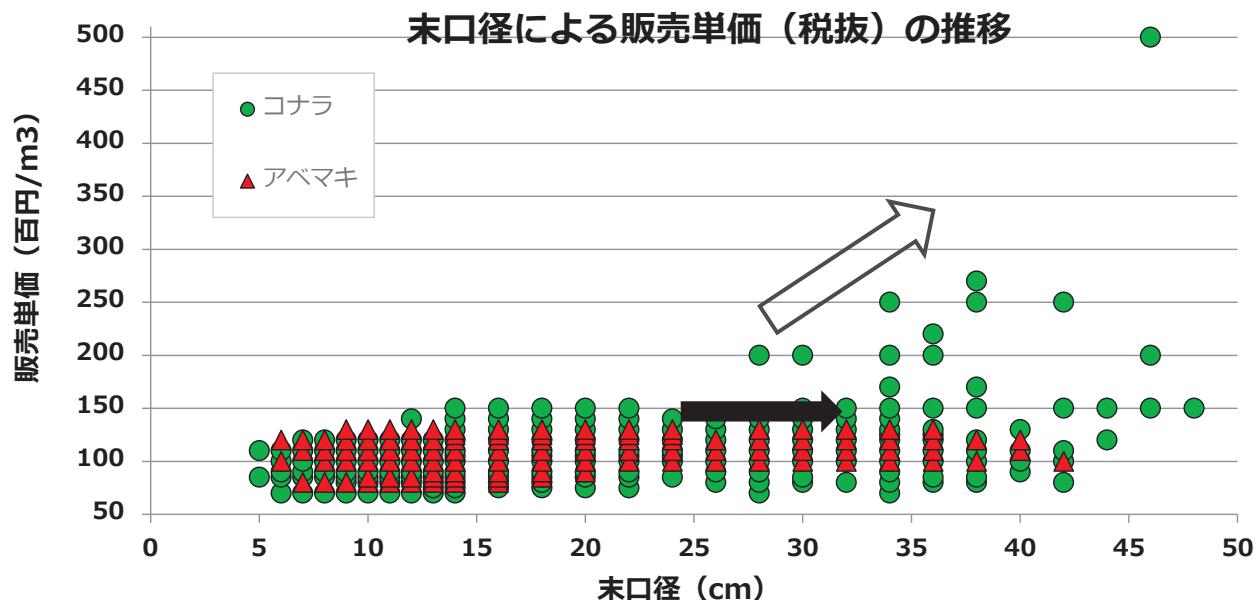
12

# これまでの調査成果 <素材のニーズ>

## b) 市場での販売結果

材積割合の大きいコナラ及びアベマキについて、径級による単価等の傾向をさらに分析

- ✓ コナラは、末口径30cm程度以上で単価増
- ✓ アベマキは、末口径により単価に大きな違いなし



13

# これまでの調査成果 <採算性>

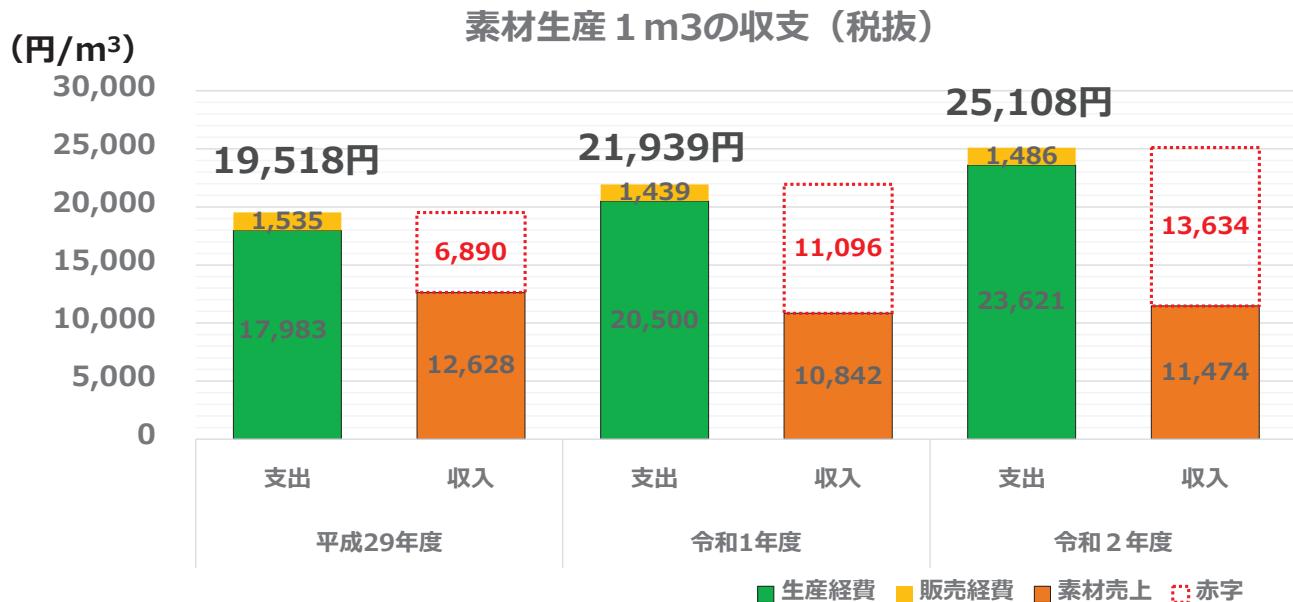
## c) 事業収支

- ✓ 素材1m<sup>3</sup>あたりの収支は、

平成29年度 支出19,518円に対して、収入12,628円

令和 1年度 支出21,939円に対して、収入10,842円

令和 2年度 支出25,108円に対して、収入11,474円



14

# これまでの調査成果<天然更新>

## a) 萌芽更新



15

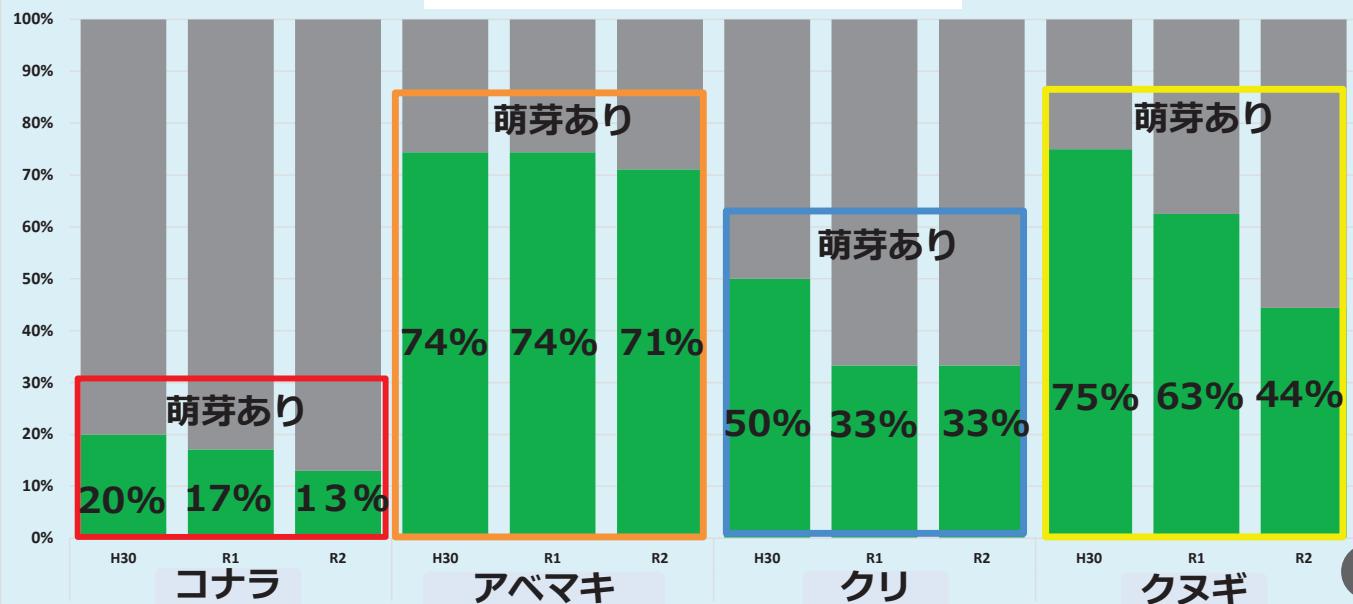
# これまでの調査成果<天然更新>

## a) 萌芽更新

平成29年度伐採区域における萌芽枝の発生状況を調査

- ✓ アベマキ 74%→74%→71% クヌギ 75%→63%→44%
- ✓ クリ 50%→33%→33% コナラ 20%→17%→13%

樹種別の萌芽枝の発生割合



16

# これまでの調査成果<天然更新>

## b)天然下種更新



地搔区



刈払区



対照区



全景（対照区側から撮影）

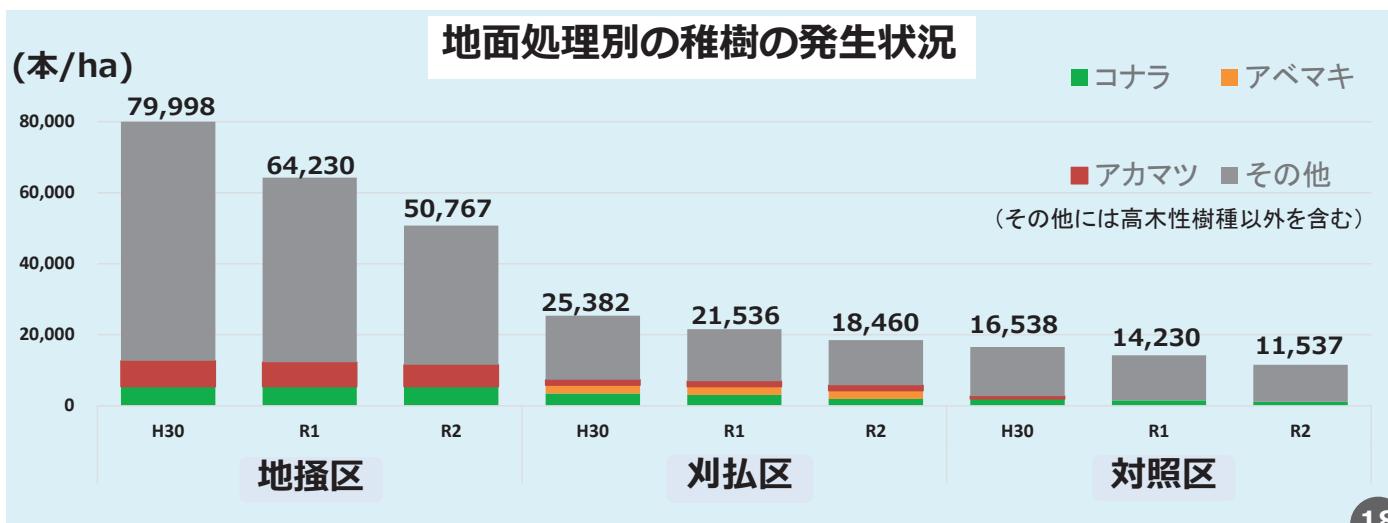
17

# これまでの調査成果<天然更新>

## b)天然下種更新

平成29年度伐採区域における稚樹の発生状況を調査  
稚樹の発生密度は、

- ①地搔区で**7.9万本/ha** → **6.4万本/ha** → **5.1万本/ha**
- ②刈払区で**2.5万本/ha** → **2.2万本/ha** → **1.8万本/ha**
- ③対照区で**1.6万本/ha** → **1.4万本/ha** → **1.1万本/ha**



18

# 里山広葉樹材需要拡大WGの取組

## 〈目的〉

- ✓ 自主的・主体的で多様な活動・経験の場を提供し、若手職員の人材育成を図る。
  - ✓ 若手職員の斬新な発想と行動力で、プロジェクトを加速させる。

WGメンバー：局署等の若手職員のうち希望する者

## 〈活動內容〉

- ✓ 企業訪問等を行い、需要に関する情報収集
  - ✓ 需要拡大方策の検討
  - ✓ 需要拡大のための情報発信

19

## 里山広葉樹材需要拡大WGの取組（情報発信）

- ・令和2年11月24日～令和3年1月8日の期間で実施。

チラシ



「国有林の広葉樹！？」  
近畿中国森林管理局では、「里山広葉樹活用・再生プロジェクト」を立ち上げ、里山広葉樹の持続的な循環利用に向けた取組を進めています。ぜひ一度、国有林から伐り出した広葉樹を見に来ませんか？

2021.1.13(水) 11時開始  
＜新春広葉樹特別市 目玉商品＞



コナラ クリ アベマキ  
径級:44cm 長級:3m 径級:28cm 長級:6m 径級:32cm 長級:6m  
コナラ220m、アベマキ40m、クヌギ30m、クリ20m出品予定  
※上記は概算数値です。詳しい情報は近畿中国森林管理会HPをチェック!

場所  
連絡先

SNS活用

- facebook



- ## ・ホームページ 木材商



電話等で直接



製材 木製品製造  
(1) (2)

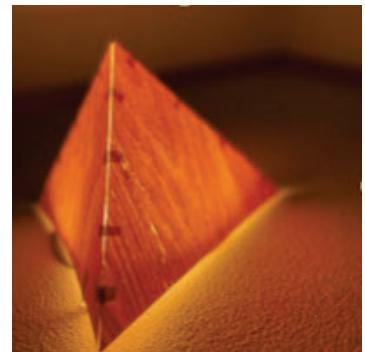


## 広報の結果、新規参入業者4社 (うち、国有林材購入は2社：製材1、木製品製造1)

20

# 里山広葉樹材需要拡大WGの取組（需要拡大）

アベマキの突板を使って、作ってみた！～身近なものを広葉樹に～



21



里山林の活用・再生の現地検討会の様子

22